

千年の森便り No.137

2014.12.18

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennenomori@hotmail.co.jp

活動の記録

11月27日(木) 臨時活動日

紅葉が盛りの中、新井、伊藤、根本の3名で、伐採地区の20区画にA1～D5の木製立札を設置しました。今後、伐採区管理の基本データとして長期間にわたって調査することから、調査等がスムーズに運びよう各区画を明確にしたもので、新井会員がさっそく植物調査に取り掛かりました。

第1回で早くも計112種類の出現が確認されました。十分な光が当たることから、多くの草本とともに、アカメガシワ、カラスザンショウなどの先駆種や、萌芽のコナラ、ヤマボウシ等が目立ちました。今後、多くの会員がそれぞれの得意を生かして参加できるよう、調査方法そのものも試行錯誤を重ねて固めていきたいと思えます。(事務局)



関東一遅い紅葉は丁度見ごろでした

12月14日(日) 快晴

参加は新井通子、伊藤、鶴沢、大原、苅米、久我夫妻、栗山、田島、中田夫妻と子供達、根本、福島、真鍋、村野、山口、吉澤の22名。この冬一番の冷え込みの中、明るい日射しを浴びて輝く森で、ニホンジカ調査、巨木林成長調査、危険木処理や広場のテーブル製作などに精を出しました。

子供達も、鳥の観察、材の皮剥ぎ、リース飾りや正月飾りの材料集めなど、冬の森を体いっぱい楽しみました。この夜書いた子供たちの作文(3頁)をご覧ください。(真鍋)



○ニホンジカ生息状況調査

朝一番の調査として、恒例のシカ調査を行いました。調査時間は、9:55～10:30で、7コースにわかれて島内を踏査し、シカとその痕跡(フン、足跡)を探索しました。

シカの発見はゼロ、調査時間内にはフン、足跡とも見つかりませんでした。なお、調査終了後に真鍋さんが比較的新しいフンを確認しましたが、最近の痕跡は少なく、この時期、島はあまりシカに利用されていないようです。(福島)

○巨木林成長調査

新井さん、中田さん、吉澤さんに手伝っていただき、巨木林(20m×20mの植生保護柵内)の成長調査を行いました。調査内容は、約70本の調査個体について、地上高1.2mの幹周りをメジャーで測定するというものです。おおまかな傾向として、幹が細い個体はほとんど成長しておらず、幹の太いもの、モミやシイ、カシなどの常緑樹が比較的よく成長していました。(福島)

○危険木処理

ホテイチク保護柵内で台風のため倒木したコナラが柵を破り、危険な掛り木状態であったので、先月に続き危険木処理を行った。太さ30センチ程度のコナラは枝が隣木にからみ重く危険なためロープ、滑車を使用して男性5人のマンパワーで無事に処理ができました。処理木はタマ切りにして柵外にまとめ、他にホテイチク保護柵内で立枯れていた広葉樹も同時に処理を行いました。皆さんお疲れ様でした。（根本）



○マダケ除伐

先月に続き、ホテイチク保護柵内に侵入したマダケを除伐しました。ホテイチクの間に高く伸びたマダケが密生しているため、除伐と搬出に苦戦し、十数本残りました。冬のうちに除伐と搬出を終え、破損して開放したままの保護柵を補修し、新芽の出る前に閉鎖します。（真鍋）



○広場テーブル製作

2011年10月に設置した竹テーブルが3年余を経て少し劣化してきたので、新たに製作した。材料は、ホテイ岬の森林整備で伐採したマダケで、広場まで担ぎ上げ、四つ割りにして表面に並べた。前回より支柱などを強化したので、これまで以上に使いやすいものになった。



いつもながらの苳米、根本、山口会員の鮮やかな段取りに加え、久我・栗山・村野さんも加わり、更に新入会の吉澤会員のマダケの節取り作業の奮闘もあり、みるみる出来上がった。皆さんお疲れ様でした。もう一つのテーブルや荷物置き台なども順次お願いします。（事務局）

○昆虫観察記録

気温が低いので、虫の姿がありません。落ち葉の中、樹皮の下、朽木、木の葉っぱなどを探してみましたが、なかなか見つかりません。どこで冬越しをしているのでしょうか？冬に羽化する「フユシヤク」という蛾を楽しみにしていましたが、飛んでいるのは2頭だけでした。朽木では、カミキリムシの幼虫、ヤマナメクジ、ミミズ、キセルガイなどが見つかりました。



ヒゲブトハムシダマシ (9mm)
朽木の中。ゴミムシのように見えますが、触覚が太く、口が違います。

クヌギカメムシの一種の卵塊
樹皮の下に卵の塊がたくさんありました。何頭ものカメムシが産んだのでしょうか。卵は共生菌入り栄養たっぷりのゼリーの中に入っています。幼虫は、冬に孵化し、ゼリーを食べて春を待ちます。



(他に観察された昆虫)アカタテハ、ウスタビガ繭、ミドリヒメカゲロウ (田島)

○伐採区植物調査

11月臨時活動日に実施した伐採区植物調査の補完調査を新井、福島、中田会員が行った。20区画に区分して出現種を記録するもので、膨大な時間と根気が必要となる。今年度調査を第1歩として、会員の皆さんの協力と参加をお願いしたい。（事務局）



○野鳥記録



メジロの巣 12/14 吉澤



ミサゴ 12/14 吉澤



ホシハジロ 12/13 坂本



オシドリ 12/14 福島

12月13日記録に14日の福島記録を加えた記録です。(12/13 坂本+12/14 福島)

(野鳥記録) オシドリ 21 ホシハジロ 85以上 スズガモ 1 カワウ 2 オオバン 4 ミサゴ 1 トビ 6+声
コゲラ声 アカゲラ 1 カケス声 ハシブトガラス 14+声 ヤマガラ 2+声 ヒヨドリ 2+声
ウグイス声 エナガ声 メジロ声 ツグミ声 シジュウカラ声 18種

豊英島の楽しい一日

(中田ファミリー子供たちの感想文)

中田夏実(中1) 今日楽しかったことは、木をハンマーでたたいて、木の皮を剥がしたことです。特にハンマーでたたいた後、きれいに皮がとれると気持ちがスカッとしました。あと木の皮がむけると木がきれいになってスベスベするので触ると気持ちよかったです。また、竹を切ったり、鳥の観察をしたり、色んなことができ充実した1日でした。



中田智貴(小5) 今日は清和県民の森に行きました。鳥が沢山いました。ヤマガラ、コゲラ、トビ、ミサゴ、オシドリ、シジュウカラ、ホシハジロなどがいました。また鳴き声だけだったけどアカゲラがいたようです。楽しかったことは金槌でゴツゴツ叩いて木の皮を剥がしたことです。他にも弟と土に穴を開けて枝をさして遊んだりしました。とても楽しかったです。ありがとうございました。



コゲラ 12/14 智貴

中田朱音(小1) 今日は千年の森に行きました。リースの飾りを採りに行きました。トゲが生えたつるや木がいっぱいありました。カマキリの卵もありました。不思議なものがたくさんあって面白かったです。他には木の皮とったりしました。難しかったけど、ちょっとだけ楽しかったです。

中田千晴(小1) 今日豊英島で遊びました。1番楽しかったことは竹を運ぶところと散歩で色々な物を見たことです。色々な鳥に会いました。竹はパパと二人で運びました。すごくすごく楽しかったです。他には竹でコップを作りました。木から白い粉が出てきました。自分で切りました。丸い糞も見つけました。パパはウサギの糞かな、と言っていたのですが、家で調べたらシカの糞だったようです。

○マダケ調査

すっかり遅くなったが、今年度のマダケの発生状況を確認した。ホテイ岬の調査区(保護区)内での、新規発生竹は4本と非常に少数だった。2006年発生竹からすべてに番号を付して管理しているが、未だに地上部が枯れたものがないが、だいぶ色が落ちてきた。マダケの地上部の寿命は10年程度と言われているので、もう少し管理調査を続けて実態を確認したいと思っている。(伊藤)

アクアラインを渡って

(吉澤咲子)

この会の参加も3回目となり、会員としての自覚をしっかり持たなくては、と思い二ホンシカ調査、木の成長量調査、竹の手づくりテーブル作成をお手伝いさせていただきました。調査中も植物等のお話を聞かせて頂いたり、テーブル作成はあうんの呼吸でみるみるうちに完成！もの作りの楽しさを感じる、気持ちのよい1日を過ごすことができました。今後自分にはなにができるか、考えながらのろのろ運転でアクアラインを渡りました。おつかれさまでした！

(写真は竹の節取りを手伝う吉澤さん)



お知らせ

○新入会員紹介 11月24日東京・目黒区の吉澤咲子さん、11月27日君津の河野真彩洋(まさひろ)さんが入会しました。二人とも今年秋のキノコ観察会参加者で、その後も積極的に活動に参加されています。また河野さんは君津市民活動体験参加者で、藤川さんに次ぐ二人目の入会です。12月14日現在会員数は42名。

○1月～3月定例活動日のご案内

- 1月18日(日) ホテイチク林整備、植生&ホダ場保護柵補修、広場テーブル製作、造材・皮剥き、野鳥調査
 - 2月15日(日) 光環境調査、ホテイ岬森林整備、造材・皮剥き、植物調査、野鳥調査
 - 3月15日(日) シカ個体数調査、ヒメコマツ成長調査 仮設物置更新、植物調査、野鳥調査
- など計画しています。積極的な参加・協力が期待されます。いずれも9時30分、県民の森駐車場集合。

○公開講座のご案内

千葉県農林総合研究センター公開講座「森の不思議とその働き」下記の講演テーマと講師陣、大変興味深い有益な講座です。森に関心ある会員の皆さま、是非とも参加されるようご案内します。

【日時】日時平成27年1月17日(土) 午後1時～3時40分

【会場】千葉県立中央博物館 講堂 千葉市中央区青葉町955-2 電話：043-265-3111

入場無料(展示室入場は有料) 事前申込制(定員160名)

【主催】千葉県農林総合研究センター、千葉県立中央博物館

- | | | |
|------|-------------|-------------------------|
| 【講演】 | 1 森にすむ動物たち | 農林総合研究センター 森林研究所 岩澤 勝巳 |
| | 2 森ときのこ | 中央博物館 環境教育研究科 吹春 俊光 |
| | 3 スギ花粉の話 | 農林総合研究センター 森林研究所 福島 成樹 |
| | 4 森のさまざまな働き | 農林総合研究センター 森林研究所 小森谷あかね |
| | 5 木の育て方と使い方 | 農林総合研究センター 森林研究所 鶴見 治 |

【申込方法】往復はがき、FAX、Eメールのいずれか(電話申込み不可)

件名は「1/17公開講座」とし、本文に①住所、②氏名、③電話番号を明記してください。

申込先：〒266-0006 千葉市緑区大膳野町808 千葉県農林総合研究センター

FAX 043-291-5319 メールアドレス carc@mz.pref.chiba.lg.jp 締め切りは1月9日(金) 消印有効です。

【問い合わせ】千葉県農林総合研究センター 電話 043-291-0151 (代表)